

大分放送

活動名	小学校会社見学 メディアリテラシー授業の実施
実施期間	令和6年9月～令和7年2月
実施回数	社内見学 11 回

【実施学校】

大分市立高田小学校、大分市立小佐井小学校、臼杵市立市浜小学校、中津市立三保小学校、由布市立由布院小学校、大分市立野津原小学校、宇佐市立豊川小学校、臼杵市立佐志生・海辺・上北・下ノ江小学校4校合同、別府市立春木川小学校、津久見市立津久見小学校、豊後大野市立朝地小中学校

【事業実施の成果・課題】

- ・「ニュースに必要なこと」4 つポイントは、わかりやすく子どもたちに伝わったようです。子どもたちのメディアリテラシーの第一歩として、社会見学の受け入れは地域放送局として必要であることを実感しました。
- ・技術部員が対応できる日は、放送機材の操作を体験してもらうことがあり、充実した見学内容であったとの評価をいただきました。一方、教員へのアンケートでは「見学前の児童への注意事項に機材の取り扱いを丁寧にすること」を加えてほしいとの要望があり、見学内容については、その都度確認し見学者にとっても受け入れ側にとっても安全・安心な見学内容にする必要があると感じました。

【事業担当者の感想】

「ニュースができるまで」の視聴はドラマ仕立てでわかりやすく、児童には好評でした。見学コースでニューススタジオを案内するため、事前の視聴で児童の理解がより深まっているようです。会社見学の時間枠に限りがあるため、全体で 15 分程度にまとめていただくとありがたいです。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

<教諭の感想>

- ・テレビの世界は遠くに感じていましたが実際に見学したことで距離感がグッと縮まりました。
- ・テレビを観るだけでは分からない、スタジオの広さやカメラの様子、放送を支える人たちの仕事を見ることができて、貴重な機会となりました。

<児童の感想>

- ・「熱血太郎」が失敗することで、ニュースに携わる人たちが何を大切にしているかを理解することができた。
- ・アナウンサーや番組制作に携わる人たちの仕事の大変さを教えてくれてうれしかったです。大分がよりよくなってほしいというねがいを感しました。